

関 市 議 会

令和8年第1回定例会

(令和8年2月27日・3月2日・3日・4日)

代 表 質 問 順 序 表

順序	議席	氏 名	会 派 名	
1	8	池 村 真一郎	新 政 ク ラ ブ	27日午前～
2	14	足 立 将 裕	市 議 会 公 明 党	27日午後～

一 般 質 問 順 序 表

3	13	栗 山 守	若 草 ク ラ ブ	27日
4	1	川 合 治 義		27日
5	6	長 瀬 敦 久	新 政 ク ラ ブ	2日10:00～
6	4	岩 出 和 也	新 政 ク ラ ブ	2日
7	15	幅 永 典	市 議 会 公 明 党	2日午後～
8	3	村 井 芙美加	新 政 ク ラ ブ	2日
9	2	安 達 克 也	清 流 ク ラ ブ	2日
10	10	武 藤 記 子	新 政 ク ラ ブ	3日10:00～
11	17	浅 野 典 之	新 政 ク ラ ブ	3日
12	5	北 村 隆 幸	新 政 ク ラ ブ	3日午後～
13	20	小 森 敬 直	日本共産党関市議員団	3日
14	16	市 川 隆 也	市 議 会 公 明 党	4日10:00～
15	21	猿 渡 直 樹	日本共産党関市議員団	4日

代 表 質 問

新 政 ク ラ ブ

議席8番 池 村 真一郎

1 令和8年度当初予算について

- (1) 新規・重点事業は
- (2) 令和6年度決算審査を受けて、新年度の対応は
- (3) 基金の債券運用による新年度予算への影響は
- (4) 廃止または予算を縮小した事業・補助金の内容は
- (5) 予算編成に込めた市長の所感は

2 本市の将来に向けた計画について

- (1) 人口減少が本市の市政運営に及ぼす影響は
- (2) 2040年問題といわれる課題への展望は
- (3) 第6次総合計画の策定に向けた取組は

3 学校を取り巻く課題について

- (1) 国の学校給食費の抜本的な負担軽減に対する市の対応は
- (2) 体育館の空調整備の進捗と今後の計画は
- (3) 今後の小中学校の再編と校舎の建て替え計画は
- (4) 部活動の地域移行の成果と課題、今後の方針は

4 公共施設の屋根付き駐車場について

- (1) 公共施設における屋根付き駐車場の現状は
- (2) 高齢者や障がい者がスムーズに乗降できる屋根付きの「思いやり駐車場」を整備しては

5 企業誘致について

- (1) 令和7年度の工場用地開発可能性調査の結果は
- (2) 旧ロジスティクス事業用地のこれまでの経緯と調査結果は
- (3) 今後の方針は

代 表 質 問

市 議 会 公 明 党

議席14番 足立将裕

- 1 令和8年度施政方針及び新年度予算について
 - (1) 新聞に掲載された市長の今年のテーマ「共創」の思いは
 - (2) 新年度「未来志向型の予算」について
 - ア 「未来を担うこどもたち」、「まちの活力創出」、「安心・安全な暮らし」に着目した予算であるが、現下の諸課題である物価高騰対策、高齢者・障がい者等の福祉の向上施策、人口減少対策は
 - イ 福祉、医療、介護などベーシックサービスの充実が必要ではないか
 - (3) 小中学生給食無償化とせきっこ未来応援券廃止について
 - ア 国の給食費負担軽減交付金で現在の小学生給食の食材費がまかなえるのか
 - イ せきっこ未来応援券廃止の理由は
 - ウ 廃止により、要保護・準要保護児童生徒への配慮はあるか
 - (4) G I G Aスクール端末の更新と不登校対策について
 - ア 端末の新たな利活用方法は
 - イ 端末処分とデータ消去に対する認識と具体的な取組は
 - ウ 不登校対策で専門家や大学等と連携する支援体制は
 - エ 不登校対策に端末を有効活用できないか
 - オ メタバースを活用した不登校対策の検討結果は
- 2 基金の残高と流動性資金について
 - (1) 令和8年度中の基金取崩し見込額は約31億円、基金の令和8年度末残高見込額は約394億円、現在の基金での債券保有額は約392億円である。令和8年度の基金の流動性資金は確保されているのか。また、令和9年度の流動性資金は確保できるのか
 - (2) 公金管理運用委員会の現在までの協議決定事項は

一 般 質 問

議席 13 番 栗 山 守

1 小中学校教育の課題について

(1) 令和7年度「学校教育夢プラン」について

ア 重点として取組を行った4項目についての評価と残された課題は

(2) 令和8年度「学校教育夢プラン」について

ア 令和8年度の重点は

(3) 富野小学校小規模特認校制度の取組について

ア 取組の経緯は

イ クラスの人数を15人とした根拠は

ウ 本制度を成功させるために、教育委員会として取り組む具体的な支援策は

2 関市行政財産の目的外使用に係る使用料徴収条例について

(1) 他の自治体の目的外使用料算定方法と比較して妥当か

(2) この算定方法により収入はどう変わるのか

(3) 使用料の総額はどうか変化するか

(4) 今後の定期的な見直しは行われるのか

(5) 本条例の改正施行期日が令和8年4月1日とあるが、使用事業者への周知に問題はないか

一 般 質 問

議席1番 川 合 治 義

1 関市登山デジタルスタンプラリーについて

- (1) 事業の概要は
- (2) 参加者数、スタンプ総数、コンプリートした人の数、温泉利用者数は
- (3) 事業完了後の評価は
- (4) 地域委員会や各種地域サークルと連携した新たなデジタルスタンプラリー事業を立ち上げて発展させてはどうか
- (5) 他部署との連携の余地があるのではないか

2 道路の除雪について

- (1) 市内各地域の除雪体制はどうなっているか
- (2) 各地域の仕上がり状況の格差を認識しているか
- (3) その格差是正にはどのような課題があり、解決策はあるのか

3 公共交通の利用促進について

- (1) 最近の関シティバス利用者の増加で有意の変化があれば例示を
- (2) デマンドバスわかくさ・富野線を地域一周コースにして、利用を促進してはどうか

一 般 質 問

議席6番 長瀬 敦久

- 1 「関市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」における木質バイオマスの活用について
 - (1) 政策的背景と本市の位置づけについて
 - ア 国の環境基本計画に示される「地域課題同時解決」の考え方は
 - イ 木質バイオマスの位置づけと、今後の方向性は
 - (2) 木質ペレットストーブ・薪ストーブの補助制度について本市の特性を踏まえ継続する考えは
 - (3) 木質バイオマス利用拡大についての課題は

- 2 岐阜県「エネルギーの森づくりの方針」に基づく本市の考えについて
 - (1) 木質バイオマスの供給体制における間伐材やC・D材、広葉樹等の利用は
 - (2) 里山整備・インフラ維持・防災について
 - ア 里山林と共に森林化した土地の「エネルギーの森」への利用は
 - イ インフラの維持や住環境整備、防災と「エネルギーの森」の連携は
 - (3) 林業従事者の確保・地域経済への波及について、作業員賃金の向上、森林所有者の収入の増加についての見解は
 - (4) 森林環境譲与税と基金について
 - ア 活用実績と基金の現状は
 - イ 木質バイオマス関連施策や林業機械の共同利用支援等に戦略的に活用し、木の駅プロジェクトを継続させては

一 般 質 問

議席4番 岩 出 和 也

1 市民への情報提供と窓口業務の改善について

- (1) 補助金等に関する税制について、申告漏れを防ぐための案内は
- (2) 本市税務課職員等が窓口業務で確認事項を徹底する仕組みは

2 本市の農業政策について

- (1) 半農半Xの新たな農業者の確保は
- (2) スマート農業等の潜在力をフル活用した生産強化は
- (3) 環境調和型農業と消費者をつなぐ新たな仕組みづくりは
- (4) 有機農業による持続可能な農業生産・農村づくりの推進は

一 般 質 問

議席 15 番 幅 永 典

- 1 「こども・若者の権利条例」制定と実効性ある支援体制について
 - (1) 条例制定の目的と意義をどのように整理しているのか。重点政策の柱となるのか
 - (2) 条例制定にあたり、こども・若者自身の意見表明や参加をどのように確保し、条例に反映させていくのか
 - (3) 条例制定後のこども・若者の権利を具体的に保障・実行するための施策や体制整備の考えは
 - (4) 条例制定後の学校・福祉・医療・地域の連携強化の考えは
 - (5) 条例制定後の職員・教職員への研修や理解促進に向けた取組は
 - (6) 虐待、いじめ、孤立など、こどもの権利侵害に対する相談窓口を条例にどのように位置付けるのか
 - (7) 匿名で相談できる仕組みを整備する考えは
 - (8) 第三者的な「子どもの権利救済機関（オンブズパーソン等）」設置の考えは
 - (9) 条例制定後の周知啓発の取組の考えは
 - (10) 毎年「こどもの権利週間」を設ける考えは

- 2 介護保険料所得段階の更なる多段階化について
 - (1) 多段階化が市民の負担感の軽減や公平性の向上につながる可能性について、どのように認識しているか
 - (2) 現行の14段階で市民負担の公平性や納得感の面で十分であると判断した根拠は
 - (3) 第10期介護保険事業計画の策定に向けて更なる多段階化を検討課題として明確に位置付け、計画案に反映していく考えは

一 般 質 問

議席3番 村 井 芙美加

1 市内の大型イベントの運営体制と市の関わり方について

(1) 市の関与について

ア イベント運営における市の立場と責任の範囲は

イ イベントに対する公的支援の現状は

ウ イベント運営ルールの策定に市はどの程度関与しているか

エ 市がイベント実施団体に対し、助言や働きかけをする際の基本的な考え方やその方法は

(2) 出店者の競争環境における公平性・透明性の確保について

ア 出店場所や出店料の決定方法について、公平な競争環境を確保するための工夫は

イ 実施団体から提出される実績報告や収支報告はどのように検査・点検されているか

(3) 今後の方針について

ア 出店者の公募・プロポーザル方式や、抽選による出店配置の決定など、公平性を担保する仕組みを導入する考えは

イ 公平性・透明性が確保された開かれたイベント運営を維持するための今後の方針は

2 幼稚園・保育園の給食における地産地消の推進について

(1) 公立保育園の給食における地元産食材の活用状況とその課題は

(2) 給食費無償化を契機に、さらに地産地消を推進していく考えは

一 般 質 問

議席2番 安達克也

- 1 小中学校の安心・安全の確保について
 - (1) 市内小中学校での防犯カメラの設置状況は
 - (2) 学校内での盗撮事案について対策がなされているか
 - (3) 子どもたちの安全を確保するため、盗聴・盗撮の探知機を整備しては
 - (4) 子どもたちが安心して学校生活を送れる学校づくりについてどのように考えるか

- 2 長良川鉄道の将来展望について
 - (1) 長良川鉄道の運営維持について市長の考えは
 - (2) 大切な財産である長良川鉄道を残すための本市の取組は
 - (3) 観光事業との連携や集約施設・店舗の誘致などに力を入れてはどうか

- 3 地域ミライと一くについて
 - (1) 実施の状況は（期間、場所、回数、参加者数、質問数）
 - (2) 地域ごとの主な意見は
 - (3) 各地域からの意見を聞き、令和8年度予算に反映したことはあるか
 - (4) 来年度以降の開催予定及び変更点は
 - (5) 市長の所感は

一 般 質 問

議席10番 武藤 記子

- 1 次世代の健康を守る保健事業の拡充について
 - (1) 中学校での「いのちの授業」の内容は
 - (2) 成人式から始めるプレコンセプションケアの後押しを
 - (3) ヤング健診の対象年齢の引き下げを

- 2 本市における放課後等デイサービスの利用実態と支援体制について
 - (1) 市内放課後等デイサービスの事業所数は
 - (2) 近年の障害児通所受給者証発行数は
 - (3) 市内居住者で市外の事業所を利用している児童数及びその理由を把握しているか
 - (4) 支給決定を受けていながら、空きがないために利用できていない待機児童の把握は
 - (5) 利用希望者が増える中、相談員不足でセルフプランの割合が増えていないか
 - (6) 市と事業所が直接意見を交わす場は確保されているのか

一 般 質 問

議席 17 番 浅 野 典 之

1 家屋敷課税について

- (1) 課税理由は
- (2) 課税対象と課税対象とならない場合の違いは
- (3) 課税対象の調査方法は
- (4) 課税額と対象者数は
- (5) 県内 21 市の課税状況は
- (6) 担当者の事務量、事務経費は
- (7) 対象者はまさしく市民税を納税する市の関係人口であり、ふるさと住民登録制度により住民登録していただき特典の付与等に結び付けたらどうか

2 市長奨励賞について

- (1) 令和 7 年度の受賞人数とその内容は
- (2) 総務大臣賞受賞の水道に関するデータ活用は、市の有収率の向上、水道事業の効率化に繋がると思われるが施策として採用できないか

3 都市計画区域・都市計画税の見直しの必要性について

- (1) 令和 7 年第 3 回定例会質問後の検討内容について
- (2) 直近 5 年間の都市計画税の総額と都市計画事業の総額は
- (3) 直近 5 年間の充当事業割合の推移は
- (4) 充当事業の固定化と下水道事業償還金は未指定地域との不公平感を抱く市民が多いがどう解消していくか
- (5) 未来への投資としてさらに積極的に都市計画事業を実施すべきでは

一 般 質 問

議席5番 北村隆幸

- 1 『早活人材』を地域産業に活かす、高卒就職者への積極支援とキャリア教育について
 - (1) 市内高校の就職率と市内企業への就職の割合は
 - (2) 市内高校に届く求人の倍率と市内企業が高卒採用を求めるニーズは
 - (3) 1人1社制等の高卒採用における規制による困難さは
 - (4) 市内高卒就職者の3年以内離職率は
 - (5) 高卒採用の支援策と成果は
 - (6) 早活人材のキャリア支援に取り組んでは
 - ア 関市版アプレントィスシップの取組は
 - イ 高校在学時に介護の現場で働きながら資格を取る介拓奨学生の取組は
 - (7) 高卒就職者への定着支援の取組をしては
 - (8) 関商工高校の保護者や生徒向けに『早活』の意識啓発の実施は

- 2 国民健康保険の取組と予防医療の推進について
 - (1) 被保険者の負担増の状況とその要因、また保険税を上げる判断基準は
 - (2) 国民健康保険事業の取組の全体像は
 - (3) 年間一人当たりの医療費の推移とその増加要因の分析は
 - (4) 「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の取組、成果及び課題は
 - (5) 特定健診の受診率と特定保健指導の受診率／終了率の向上の取組と評価は
 - (6) 特定健診の受診を促すための新たな取組は

- 3 関市ゆかりの禅僧・仙厓を活かした取組について
 - (1) 本市が所蔵する仙厓の作品は
 - (2) これまでに開催してきた仙厓に関する取組は
 - (3) 仙厓展における作品借用とその課題は
 - (4) 重要な美術品を展示できる施設を整備するべきではないか
 - (5) 仙厓を活かす方針は

一 般 質 問

議席20番 小 森 敬 直

- 1 高市政権の非核三原則の見直しについて
 - (1) 平和都市宣言をしている市としての見解を求める

- 2 PFAS汚染対策について
 - (1) PFAS発生原因の調査の進捗は
 - (2) これからの取組は

- 3 高齢者補聴器購入費助成事業について
 - (1) 認知症予防のために対象者拡大を
 - (2) 要綱の緩和を検討されたのか

- 4 ねたきり高齢者等介護者慰労事業について
 - (1) 事業の目的と実績は
 - (2) 事業の改善が必要ではないか

一 般 質 問

議席16番 市川隆也

- 1 地区公民センターの地元移管について
 - (1) 意向調査の進捗状況は
 - (2) 譲渡意向地域への施設移管の進め方は
 - (3) 廃止意向施設への今後の対応は
 - (4) 見直しの検討は

- 2 健活事業について
 - (1) 事業の概要は
 - (2) 利用状況と市民への周知は
 - (3) 事業の成果は
 - (4) 今後の拡充と課題は

- 3 「5歳児健診」の導入について
 - (1) 本市の乳幼児健診の内容は
 - (2) 5歳児健診のメリットは
 - (3) 早期導入の考えは

一 般 質 問

議席 21 番 猿 渡 直 樹

1 公民センターの今後について

- (1) 集会施設が無くなると地域にとってマイナスではないか
- (2) 公民センター廃止方針の達成状況は
- (3) 廃止に伴う費用は
 - ア 譲渡のために要した改修費用の平均額
 - イ 今後必要とする改修費用の見込額
 - ウ 閉鎖施設の撤去費用の見込額
- (4) 譲渡か廃止か未決定の施設は
- (5) 全廃はいつ完了する見込みか
- (6) 譲渡後に閉鎖する施設の撤去費用も公費負担とすべきではないか
- (7) 廃止の方針は再考の余地があるのでは

2 医療保険・介護保険の負担軽減について

- (1) 子ども・子育て支援金による国民健康保険税及び後期高齢者医療保険料引上げに対する負担軽減を
- (2) 介護給付費等準備基金を活用し、介護保険料の引下げを

3 合特法事業の廃止について

- (1) し尿汲取事業 4 者の合理化の状況は
- (2) 法の趣旨に沿わない事業になっているのではないか
- (3) どうすればし尿汲取事業の存続が図れるか

4 債券運用について

- (1) 含み損の推移は
- (2) 債券一部売却の検討状況は